

キッズコーナー

小学生、中学生に読んでもらいたい記事をおいています。読めない字があったら、おうちのの人に教えてもらってね。

私たちの身近な文化財

竹内家の大ケヤキ

現在、小平市内の天然記念物は、3件あります。

今回は、小平市最古と思われる樹木で、市の天然記念物指定第1号となった「竹内家の大ケヤキ」(写真1)を紹介し

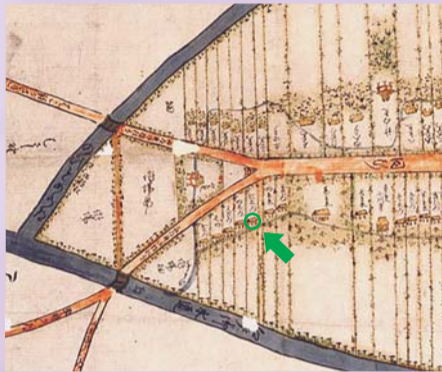


〈写真1 竹内家の大ケヤキ〉

「竹内家」は、小平市の発祥となったかつての小川村の青梅街道沿いの旧家で、竹内家の言い伝えでは、先祖は甲州(山梨県)の出身、その後山口(埼玉県所沢市)に移り、山口から今のすまい(小川町1丁目の青梅街道三差路付近)へ移り住んできたそうです。

江戸時代前期にはじまった、小川村の開拓当初から住んでいたかははっきりわかりませんが、延宝2年(1674)頃につくられた『小川村地割図』(図1)には、現在の竹内家のある場所にすでに屋敷が描かれていることから、開拓当初の農家の一つではなかったかと思われます。竹内家のケヤキは、竹内家の中を流れる「小川用水」のすぐ北に生えています。

当時の農家では、屋敷内にケヤキをたくさん植えて大きくなるまで育てていました。その理由の一つは、冬に吹き付ける風避けとするため、もう一つは、まとまったお金が必要となったときケヤキを材木屋に売ったり、自宅の建て替えのときの木材とするためで



〈図1 『小川村地割図』(1674)〉

た。こうした農家の敷地の中にあるまとまった樹木は「屋敷林」といわれ、持ち主の必要に応じて伐られ、売却・利用されてきました。

今から約70数年前の第2次世界大戦のとき、農家の大きな古木を資材として差し出すよう国から求められ、小平市域内の旧家の古木も多数伐採されました。

しかし、竹内家の大ケヤキは、戦争中当時からすでにほかの家のケヤキよりもずっと大きく、伐り出しても運ぶのがとても大変なため、伐採を免れたそうです。

今の竹内家のご主人のお話によると、子どもだった頃(今から約60年前)から今とほとんど変わらない太さだったとのことで、他と比較すると「熊野宮のケヤキ」が自通り(自の高さにある幹の周囲の長さ)3.8m、「鈴木稲荷神社のケヤキ」が自通り3.7mですが、「竹内家の大ケヤキ」は、自通り6mもあり、小平市内最大の古木であるその大きさがうかがえます。

ケヤキの幹の根本は、内部がくもけて(腐って)空洞となっていて、よく近所の子もたちとその中に入って遊んだそうです。

その内部は、広さが一坪(畳2枚分・約3.3平方メートル)ほどもあり、幹のかなり高いところまで空洞となっていて、大人が余裕で立つことができるそうです。

今から3~40年ほど前、市内の保育園の園児がケヤキのところまで遊びに来たことがあり、そのとき園児に空洞内に入ってもらったところ、27人も入ったそうです。以前の空洞入口は大人が入れるほど大きかったそうですが、現在は入口の周りの樹皮が伸びてきて、だいぶ小さくなっています。

竹内家の大ケヤキは、小平市域の開拓が始まったころから小平市の歴史を見つめてきた生き証人です。ケヤキの根もとに立つと、その歴史の長さを感じられるかもしれません。



小平市 平櫛田中彫刻美術館

KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

今年小平市制60周年記念事業として、秋には平櫛田中の特別展を開催します。

◆夏休みわくわく体験美術館

夏休みの一日を美術館で過ごしませんか。期間中、小・中学生は無料で観覧できます。(同伴の保護者の方は観覧料が必要)。平櫛田中や作品についてのクイズを解いて、美術館について楽しく知りましょう。

来館した小・中学生には、平櫛田中の生涯を描いた漫画『田中彫刻記』をプレゼントします。(1家族に1冊)
と き 7月16日(土)から8月31日(水)まで



開館時間 午前10時から午後4時まで ※なるべく、午後3時30分までに入館してください。
休館日 火曜日(祝日、または振替休日)に当たる場合は開館し、翌日休館
観覧料 一般…300円(220円)、小・中学生…150円(110円)
※カッコ内は、団体20人以上です。
※駐車場をご利用の方はご相談ください。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098

◆でんちゅうストラット

平櫛田中の旧宅を会場に、武蔵野美術大学彫刻学科の学生と教員などの作品を展示します。

平櫛田中の作品と違う、様々な彫刻の表現をお楽しみください。

と き 7月27日(水)から9月5日(月)まで

ところ 平櫛田中彫刻美術館 記念館

観覧料 美術館の観覧料で見られます。(夏休みわくわく体験美術館の期間中は小・中学生無料)



◆開催中の展覧会

宗教美術の世界—平櫛田中コレクションより—

平櫛田中が集めた宗教に関する美術品を紹介します。展示の目玉は江戸時代に全国を旅しながら仏像を刻み続けた円空の仏像と、法隆寺に伝わったとされる塑像です。

と き 9月11日(日)まで

子どもミニボッチャ大会を開催しました



5月15日(日)に小平市民総合体育館で、小平市で初の開催となる小学生以下の子ども限定の「子どもミニボッチャ大会」が開催されました。

パラリンピックの正式種目であるボッチャは、ジャックボールと呼ばれる的球(白球)に、赤、青6球ずつのカラーボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。小平市では令和3年度に小学校でボッチャ体験教室を開催し、たくさんの児童がボッチャを知り、競技を楽しみました。また、3月



には第1回こだいらボッチャ大会〜こだッチャ杯〜が開催されるなど、ボッチャをプレーする方が増えて人気のスポーツになっています。

子どもミニボッチャ大会には12チームが参加し、優勝を目指してプレーしました。どのチームも仲間と協力して作戦を立てたり、いいプレーが出たときには敵味方関係なく拍手し合ったりと、真剣



に、楽しく試合をしていました。

決勝戦は「仲よし四人組」チーム対「なかよし4人組」チームという、名前が同じチーム同士の対決となりました。大人顔負けの好プレーが繰り出される両者譲らない接戦の結果、仲よし四人組チームが見事勝利し、初代チャンピオンに輝きました。

小平市では、11月に第2回こだいらボッチャ大会〜こだッチャ杯〜の開催を予定しています。この大会には大人も参加しますが、子どもたちの大活躍が見られることを期待しています。



●最終成績

| | |
|-----|---------|
| 優勝 | 仲よし四人組 |
| 準優勝 | なかよし4人組 |
| 第3位 | 4-3 |

〈文化スポーツ課〉